



西山農免道路崩落の現場

たり、倒木、土砂流入による影響で、一時全面通行止めを実施。

崩落箇所は今後、国の災害認定の対象となり、工事終了後の全線開通は、令和5年を予定。

○花輪中学校敷地（法面崩落）

2か所の法面崩落とグラウンドの陥没を3か所で確認。補正予算により復旧費用の調査設計委託を予定。

○花輪字鉄砲地内（不動川護岸決壊）

既設護岸が被災し、右岸側が18メートル、左岸側が27メートルの被害。

この被災箇所は、国の公共土木施設災害復旧事業に申請し、11月上旬に査定受検を予定しており、復旧内容や金額が確定した後、工事を実施。

○西山農免道路（路面崩落）

道路の一部が長さ40メートル、幅6メートル、高さ7メートルにわたる、大規模な崩落を確認。
また、農免道路全域にわ

教育民生常任委員会派遣調査報告 （学校給食の提供体制について）

7月6日に「鹿角市学校給食センター」において、学校給食の検査の方法と実施状況について調査を行いました。

検査は、全てのメニューを比較的短時間で行う必要があり、有害物・異物混入から色彩形態など5つの項目をアレルギー代替食を含む全ての食材で実施しています。

参加した委員は実際に検査を行いながら質問や意見交換をしました。

異物の混入で多いのは髪の毛だが、生産から配膳までのどの時点での混



検査簿に記名しチェックしていきます。

入か特定できないため、調理から配食までは極力混入しないよう徹底しているとの説明があったほか、アレルギーがもつとも多いのが卵だが、様々な料理に使われていることから、栄養士が工夫しながら献立を組み立てていること、また、アレルギーに対応する代替食もなるべく多くの児童・生徒に提供できるよう努めているとのことでした。

給食センターでは、体の成長や好き嫌いによる食べ残しのため量の調整などを行っています。必要な栄養がしっかりと摂取できるように、メニューや調理方法で対応しています。

また、多くの児童・生徒の口に入ることから、提供まで常に高い緊張感が求められます。

今回の調査では、しっかりとした検査と配慮により子供たちの健やかな成長が支えられていることが確認できました。

編集後記

私たちをとりまく情報化社会は、めまぐるしい速度で状況が変化しています。

議会においても、社会的ニーズの増加や複雑化に対応すべく、これまで以上に改革が求められています。

議員は市民の代表として皆さんの声を行政に届けることが役割とされているため、活動の目的や効果などを分かりやすくお伝えすることが大切です。

皆さんとの相互理解の深化がよりよい鹿角市を作っていくと考えています。

ぜひ、ぎかいだよりをお読みいただき、ご意見ご感想をお寄せください。

些細なことですが、大切なことです。改革はこういつたことから始まると思っています。

（金澤大輔）

議会広報委員会

委員長 金澤 大輔
副委員長 成田 哲男
委員 児玉 悦朗
湯瀬 誠喜
湯瀬 弘充